

おはよう、  
特集  
小美玉。

# たまご

日本一の鶏卵生産量を誇る小美玉市。小美玉市養鶏協会の中村さん(中村養鶏場)にお話を伺いました。



## 食卓に手軽に 彩りと栄養を届ける。

中村養鶏場 中村晃久さん・睦美さん



昔は鶏の時間に合わせて朝が早かったのですが、いまは餌やりの機械の導入や生産管理の効率化が進み、8時出勤で17時に終わるようになりました。時には日の出前に作業することもあります。生きている鶏と共同作業の部分もありますから、鶏の生活リズムをきちんと保った衛生管理を徹底しています。

料理に使われたり、お菓子に使われたり、卵は身近な食材です。安全に安価に卵を食べられるように養鶏協会で努力して、主に首都圏に供給しています。みなさんは毎日卵を食べていますか？ 私たちはいま「1日に卵を2つ食べよう」という「たまご運動」を鶏卵生産者みんなで行っています。日本の食卓の栄養を支える一員として、おいしく卵を食べようという活動をしているんです。

私たちがお勧めする卵の食べ方は、やっぱり卵かけご飯。産地だからこそ手に入る、新鮮で濃厚な産み立て卵。1日の活力になります！



14:00

4 | パック詰めされた卵は贈答品として重宝されています。

9:00

3 | 第一便で出荷する卵を積んだトラック。

8:30

2 | 大きさやキズ等選別し、卵をトレーに詰めていきます。

7:45

1 | 鶏が朝たまごを産むところから1日はスタート。



# 日本の朝の食卓を支える。

## なっとう

世界一の納豆生産量を誇る  
水戸第一工場。生産を担う4  
人の工場勤務のスタッフさん  
にお話を伺いました！

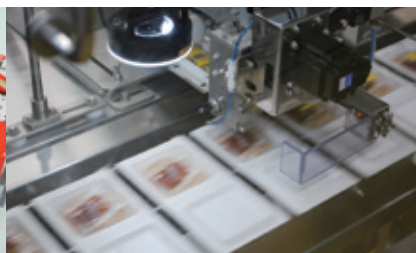


目指せ100年企業！  
地域に愛される企業へ

タカノフーズ水戸第一工場  
トレー製造 柴沼 巧さん・齊藤 貴廣さん  
包装 埴 浩和さん・工場管理 早坂 翔さん

朝の製造は約140名が働いています。朝にはじまる工程は、圧力釜で1時間大豆を蒸す「蒸煮」と、蒸した大豆をパックに詰め「充填」の作業。納豆ができるまで3日ほどかかるので、発酵や包装と一連の工程を管理して、常に納豆の供給が途絶えないように24時間体制で製造しています。製造量は1日に200万パック。小美玉にある水戸第一工場は、タカノフーズ全体生産量の30%を支える一番大きな工場で、青森から神奈川までのエリアに主に配送されます。納豆は健康食品です。このコロナ禍は4か月フル稼働でも供給が追いつかないほどでした。子どもをもつ社員も多いため、家族の健康に納豆は欠かせないという想いで品質を保って製造しています。

社長は小川地区の出身です。創業は昭和7年。地域に愛される会社として創業100年を迎えられるように、これからも高い品質の商品を作り続けていきたいです。朝から納豆を食べて暑い夏を乗り切ってくださいね！



10:00

3 | 第一工場から物流センターに移り、各地に発送！



9:30

2 | 発酵・熟成を終えて、3パックずつ包装。



8:30

1 | 8～15時までパック詰めを断続的に行います。



／おしえて！／

# 小美玉 暮らしの 楽しみ方。

## 朝から土いじり？シビックガーデン仲間。

市内の人はもちろん、遠くは県外から畑を借りに来る家族もいるというシビックガーデン。最近では大学生からの問い合わせもあつたとか。毎日、成長を見守りたくなるのが

畑の魅力。この日も朝から土いじりに精を出す人が続々とやってきました。とうもろこし、すいか、オクラをはじめ、ビニールハウスでキノコまでつくるベテランの桑原さん。ニコニコしながら自慢の畑を案内していただきました。指導員がいたり、道具の貸し出しもあつたり、初心者でも安心の市民農園です。

現在 15 区画  
空いています。  
あなたも土いじり、  
はじめませんか？



### 小美玉市美野里シビック・ガーデン

所在地 | 小美玉市部室1151-7 1区画 | 30㎡

貸付期間 | 1年間(4月～3月) 利用料金 | 1区画 5,250円/年間

詳細のお問い合わせ | 一般財団法人小美玉農業公社事務局

電話:0299-48-3971 <https://omitama-agri.jimdosite.com>



pickUp

小美玉

## 幼少期の小美玉市での体験が、 今につながっています。

茨城にUターン 川島拓さん

農業が身近な小美玉市で育つことから自然環境や生き物に興味を持ち、大学は農学部に進学しました。卒業後は政府系金融機関に就職して札幌市に2年間住みましたが、昨年茨城にUターンし、今は農業で起業することを目指しています。

小さいころ家で野菜を育てたり、学校で田植えや稲刈りをしたりした経験が、今の自分へつながっていると実感しています。

農業は高齢化や自然災害などの話題が多く、暗い印象を持ちがちですが、活動を通じて、農業や土に触ることの楽しさを伝えていきたいです。



(左から)神長光夫さん・桑原明義さん・鈴木静さん

おはよう、  
小美玉。  
特集



(左から)稲葉みつゑさん・杉山亘さん・萩谷文子さん  
小松ヒサ枝さん・萩谷哲司さん・楠木紀久子さん



1  
6:30

## みんなと集って 朝活派?

早起きは三文の徳。毎朝同じ時間に集まって、健康の生活習慣にしませませんか? 江戸住宅のみなさんは、ラジオ体操を50年続けているそうです。気持ちが良い朝の公園に集まるのが心身の健康に役立っています。

撮影場所…江戸住宅中央公園

(左から)狩谷信之介さん・狩谷宗次郎さん  
野村裕人さん・ポポ



1  
7:00

## 水分補給しながら たのしく朝さんぽ派

朝の散歩は、毎日行う方もいれば、休日の楽しみにしている方もいるのでは。野村さん宅では、週末の朝、野球練習の前にはポポちゃんの散歩をしているそうです。あなたも散歩やジョギングをはじめてみませんか?

撮影場所…第二東宝区

もうはじめてる?

# 小美玉の 朝の習慣。

Morning customs of Omitama city

交通量が  
多いところも  
最後の班が  
通るまで  
しっかり見守り。



子ども見守り隊 古渡勝子さん・広瀬政江さん



7  
7:45

## 感謝! 朝のボランティア活動。

小美玉の子どもたちを見守るボランティア。有志の皆様と、毎朝自宅近くの通学路に立っています。毎日の「おはようございます!」のやりとりが元気な子どもたちを育てています。

撮影場所…玉里小学校付近